

# 校長のつぶやき

校長室便り 第37号

令和元年11月14日 山内

○90周年式典 ー校長式辞（抜粋）ー



本日は、宮城県教育委員会教育長伊東昭代様、大崎市長伊藤康志様はじめ多数のご来賓の方々ご臨席のもと、宮城県岩出山高等学校創立90周年記念式典を挙行政いたしますことは、私ども関係者一同の喜びであり、心から感謝申し上げます。

本校は、1929年（昭和4年）の4月、世界的な大恐慌の中、岩出山町立宮城県岩出山実科高等女学校

として、伊達政宗公が米沢から移り住み仙台青葉城に移るまでの10年余りを本拠地として過ごした「岩手沢城」のあったここ城山の地に開校されて以来、今年で創立90周年を迎えることになりました。その間、昭和18年には岩出山高等女学校と改称し、さらに昭和23年には玉造郡2町6村の組合立宮城県岩出山高等学校と校名を変え、翌年に宮城県へ移管し、「地域に根ざした学校」として歩みを進め本日に至っております。

創立80周年記念事業から丁度10年経ちますが、現在の定員1学年3学級120名となったのも10年前となります。一時期は生徒の定員が1,000名を超えた時もありましたが、少子化の進行とともに、現在は全校生徒262名となりました。この10年、それでも少人数の利点を活かし、一人一人の生徒に目を配り、全校生徒・全職員で取り組む「岩高短歌」では全国大会にまで出場する生徒もおります。また、県内外で活躍する17000有余名の同窓生の方々からお力添えをいただき、「OB等リレー講座」も生徒の幅広い知識・教養の習得に繋がっております。本年度もこの後、記念式典講演を兼ね、OB等リレー講座として、新みやぎ農業協同組合の鈴木千世秀様から「～好奇心からの挑戦～」と題してご講演いただく予定でございます。また、今年と同じく、同窓生の東北楽天ゴールデンイーグルスの今野龍太投手のプロ入り6年目、右膝の手術を乗り越え、育成契約からの再登録選手としての初勝利は生徒に大きな勇気と感動を与えていただきました。90周年記念式典当日の本日より、活躍の場を東京ヤクルトスワローズに変え、新たなスタートを切るようです。岩高生一同、今後も今野龍太先輩を応援してまいります。さらに本校は「地域に学び・地域に育ち・地域を担う人」を目標に、地域イベントへのボランティア活動に積極的に参加し、高齢者ホームへの訪問や小学生への読み聞かせ等、その活動姿勢は地域の皆様から親しまれ、期待されております。今年度もおおさき食楽まつりや政宗公まつりをはじめ、多くの地域行事に全校をあげて参加させていただきました。

これまで本校の発展にご尽力いただきました皆様に改めて心から感謝申し上げます。これからも多くの同窓生の皆様のお力添えをいただきながら、地域の皆様からのご指導をいただきながら、地域になくてはならない学校を目指し、校訓「志・和・道」を大切に、微力ながら全職員一丸となって取り組んでまいります。

結びに、創立90周年記念事業にご理解・ご協力いただきました関係各位に衷心より御礼申し上げご挨拶いたします。

令和元年十一月十四日 宮城県岩出山高等学校長 山内 民

○心配されていた天気も晴れて、無事に記念式典を終えることができました。ステージ上から見る岩高生一人一人の表情が輝いていて、矢内先生から前日いただいたメッセージのお陰か、校歌もいつもより声が出ていました。ほっとしました。絶賛された生徒代表挨拶は次号でお届けします。今回はこれでお終いです。